

平成 29 年度（第 13 期）
「森林セラピー基地®」「森林セラピーロード®」
応募要領

1. 目的

近年、生活習慣病やメンタルヘルス不全が社会問題化しつつある中で、予防医療の重要性が科学的にも立証されつつあります。一方で、森林が有する快適性増進効果やリラックス効果の医学的解明が飛躍的に進展し、森林医学の学問的体系が構築されてきました。各方面からの森林セラピーの注目も高まり、健康維持・増進や生活習慣病予防、メンタルヘルスケアに資する森林セラピーの諸実践の成熟が期待されています。

森林医学の科学的なエビデンスにもとづいた森林整備と、一定の品質を保持したメニュー等を提供する受入態勢等の整備が重要であり、そのことが継続性・発展性のある森林セラピーの森づくりには不可欠です。

このため、森林における生理・心理実験（以下「フィールド生理実験」という）による科学的検証等と、自然・社会条件等の現地調査を通して、森林セラピー推進の拠点として機能する「森林セラピー基地」「森林セラピーロード」を審査・認定することとし、今回募集を行います。

また、併せて全国各地で地域特性を活かした多彩な「森林セラピー基地」「森林セラピーロード」を認定し、連携をはかることで、より森林セラピーの全国的な普及・定着・発展を進め、新たな森林を活かした地域振興等にも寄与することを目的とします。

2. 公募対象および申請者

下記に示す「森林セラピー基地」および「森林セラピーロード」に該当する歩道および各種施設・人材等を含む森林地域を対象とします。なお、今後それらの整備を予定されている歩道や森林地域も対象となります。

3. 森林セラピー基地と森林セラピーロードについて

(1) 森林セラピー基地

2本以上の「セラピーロード」のある森林地域と、健康維持・増進等のアクティビティを提供する施設などで構成される一定範囲のことを指します。

上記に加えて、健康評価（ストレスチェックなど）がサービスの1つとして組み込まれている、もしくはその予定であることが認定基準のひとつとなります。森林セラピーロードとの大きな違いは、施設の設置もしくは提携、受付体制や案内役のガイド・セラピストの配置が必須であることです。

森林セラピー基地のタイプ（例）

①近郊タイプ——地域住民利用型

地域住民等の身近な森林散策コースとして、日常的に親しまれるセラピーロードのほか、休憩や軽い食事がとれる施設・空間が整備されています。地域住民が健康維持・増進に取り組めるような森

林セラピーや、複数のアクティビティが組み合わせられた森林セラピーのイベントが定期的に開催され、利用者は一定の頻度で通うことを想定しています。

②郊外タイプ——日帰り・短期滞在（1泊2日）型

森林セラピー基地の近県からの来訪者の短期滞在が可能なように、複数のタイプのセラピーロードと、宿泊施設があります。森林セラピーは日帰りもしくは1泊などの短期滞在を想定し、宿泊施設や観光施設と連携したツアーが定期的に開催されています。利用者の短期的なリフレッシュ・リラックスを目的に利用されることを想定しています。

③森林保養地タイプ——長期滞在型

遠隔地の来訪者が中長期滞在を行うことのできる保養地環境が形成され、様々なニーズに対応できるセラピーロードと、アクティビティの提供を行う拠点施設や中長期滞在の可能な宿泊施設があります。利用者のニーズや状態に合わせた森林セラピーが提供できるように、ガイド・セラピストが配置されるとともに、医療・保健機関等との連携によるケアも行っています。地域の特色を活かして、リゾート保養施設との複合的施設となるケースもあります。

以上が形態の例として挙げられますが、その他にも地域の自然・社会条件に合わせて特色ある「森林セラピー基地」が存在します。

*1 アクティビティ…森林セラピーと組み合わせて行うことで相乗効果の得られる活動のことを指します。例えばノルディックウォーキングやヨガ、アロマセラピー、音楽、工芸などの文化活動、気功など。自立訓練法、食事療法、作業療法、カウンセリング等の医療的側面のあるものも含まれます。

(2) 森林セラピーロード

ゆっくり歩いて20分以上の歩行距離とし、森林セラピーの効果が発揮できる歩道および歩道群を指します。傾斜がゆるく、道幅は一般の歩道より広め（1.2m以上）、バリアフリーまたはそれに準ずる歩道を含んでいることが条件です。

周辺の森林整備等を含めて維持管理がなされ、ロードの利用を通じた健康維持・増進等に資する情報の提供等がなされている、もしくはその予定であることが認定基準のひとつとなります。

4. 審査基準

「森林セラピー基地」は以下の①～⑧の基準をもとに審査致します。

「セラピーロード」は以下の①～④の基準をもとに審査致します。

- ①森林の有する快適性増進効果やリラックス効果を評価したフィールド生理実験等の結果
- ②五感に働きかける良好な自然環境
- ③当該地へのアクセス等立地条件
- ④「セラピーロード」の管理主体の有無と管理実態
- ⑤地域の自然的・社会的環境、および自然的・社会的資源の状況（ハードインフラ）
- ⑥地域の受入態勢（推進組織体制、担い手、情報、システム等）の状況（ソフトインフラ）

⑦将来構想、継続性・発展性

⑧セールスポイント

5. 申請者

森林を有する自治体、民間企業、団体、およびこれらの共同体等が申請をすることができます。

審査では、都市部と申請のあった森林部での比較実験を行います。この実施に向けた現地における準備・調整、及び費用は申請者の負担となります。

費用負担について

○フィールド生理実験等の実施に向けて、各種準備・調整等を行う担当者をご用意ください。

○フィールド生理実験等の費用（生理・心理実験試料代、分析委託料、実験機材運搬・リース料、会議室使用料、被験者料、被験者旅費、実験実施者人件費、実験実施者旅費・保険料等）をご負担頂きます。

○フィールド生理実験等の期間中（2～3日間程度）に、実験補助者（被験者誘導、機材運搬、現地調整等として8名以上）、実験者及び被験者の移動手段等をご手配頂きます。

フィールド生理実験等に向けて、被験者（学生12名）の募集、及び申請箇所の森林部、実験対象とする都市部の測定箇所と被験者待機場所をご用意ください。

※実験費用は申請所在地によって異なります。準備費用や実験契約に含まれないものは、別途負担が必要になります。詳しくはお問い合わせください。

6. 申請方法

必要書類を事務局へお送りください。

必要書類	基地	ロード
①森林セラピーロード審査申請書（様式1）	-	○
②森林セラピー基地 審査申請書（その1）（様式2）	○	-
③森林セラピー基地 審査申請書（その2）（様式2）	○	-
④生理・心理実験調書（様式3）	○	○
⑤セラピーロードを示した地形図1種（全体図：1/25,000）	○	○
⑥森林セラピー基地を示した地形図1種（全体図：1/25,000）	○	-
⑦ロードの参考写真（10～30枚程度）	○	○
⑧当該地のパンフレット、関連資料など（任意）	○	○

(1) 記入の際には、当該地の自然・社会環境が把握できるよう、なるべく詳細に記入してください。お問い合わせいただければ、記載見本をお渡しいたします。

(2) 記載された情報は、第一次審査を経て候補地となった際に『森林セラピー公式サイト』に掲載さ

れます。

- (3) 複数の森林セラピーロードを申請する場合は、1本のロードにつき1式ご用意ください。
- (4) ⑤、⑥の地形図の記入方法については、別添「地形図記載要領」をご覧ください。
- (5) ⑦の参考写真は、特徴的な箇所を中心にタイトルや簡単な解説などを加えてください。(様式任意)

《ご提出方法》

- (1) 申請書類一式は、A4フラットファイルに綴って2部(正1部、コピー1部)をご提出下さい。
- (2) ファイルの表紙及び背表紙には、申請箇所名及び申請団体名をご記入下さい。

《お送り先》

特定非営利活動法人 森林セラピーソサエティ

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6-9 DIK 麹町ビル3階 E号室

Tel : 03-3288-5591 Fax : 03-3288-5592

《申請締め切り》

平成29年1月31日 消印有効

7. 審査スケジュール

※時期につきましては変更になる場合がございます。

平成29年1月31日	●申請書締め切り
3月	●一次審査(書類審査)
4月	●一次審査結果発表
4月～5月	●フィールド生理実験の委託契約(契約半金必要)
5月～6月	●専門家チームによる現地の下見調査
7月～10月	●専門家チームによるフィールド生理実験の実施
平成30年2月	●フィールド生理実験の結果のご報告
2月～3月	●二次審査
3月～4月	●認定発表(認定証授与)

(1)一次審査(書類審査)

- ・審査委員会が書類等の審査により、フィールド生理実験等のノミネート箇所(以下、基地候補地という。)を選定します。
- ・審査結果は、申請者に通知するとともに、プレスリリースや森林セラピーソサエティwebサイト等で公表致します。

(2)専門家チームによる現地調査及び下見

- ・専門家チームが、自然・社会条件等の現地調査を行います。
- ・専門家チームが、フィールド生理実験等の実施に向けて、審査希望箇所及び実験対象とする都市部、実験期間中滞在する宿泊施設等の下見します。

(※下見時に、森林セラピーについての現地講演会の開催も可能です。ご相談ください)

(3) 専門家チームによるフィールド生理実験等

- ・ 専門家チームがフィールド生理実験等を実施します。
- ・ 実験時は、メディア等による取材を受け付けますので、事前にマスコミにお知らせください。地域の PR にご対応頂けるように致します。

(4) 二次審査

- ・ 専門家チームは、現地調査及びフィールド生理実験等の結果を、「審査基準」に基づいて評価し、その結果を活動諮問委員会に提出します。
- ・ 専門家チームによる報告書をもとに、委員会にて審査を行います。

(5) 認定の決定

- ・ 審査後、「森林セラピー基地」「セラピーロード」の認定を決定いたします。

8. 審査結果

- ・ 申請者へは、審査結果を通知するとともに、プレスリリース及び森林セラピーソサエティ web サイト等で公表いたします。
- ・ 認定された「森林セラピー基地」及び「セラピーロード」を対象に認定証書を付与致します。
- ・ 認定された「森林セラピー基地」及び「セラピーロード」に関する情報を森林セラピーソサエティ web サイトで掲載いたします。

9. 基地登録・入会の手続き

- ・ 基地として認定された団体は、NPO 法人森林セラピーソサエティの団体賛助会員として入会金 5 万円及び年会費 5 万円を払うことで、基地として登録され、「森林セラピー基地」の称号付与、および「森林セラピー」の使用権限が得られます。
- ・ 4 年ごとに活動や利用者数をお伺いする更新審査がございます。更新のための特別の費用はかかりません。

※『森林セラピー』、『森林セラピスト』は特定非営利活動法人森林セラピーソサエティの登録商標です。

10. お問い合わせ先

<手続きに関するお問い合わせ>

特定非営利活動法人 森林セラピーソサエティ

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6-9 DIK 麹町ビル3階 E号室

Tel : 03-3288-5591 Fax : 03-3288-5592

E-mail : info@fo-society.jp

URL : <http://www.fo-society.jp/>

<フィールド生理実験等に関するお問い合わせ>

○国立研究開発法人 森林総合研究所 環境計画研究室長 香川 隆英

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

Tel /Fax : 029-829-8315

E-mail : kagawa@ffpri.affrc.go.jp

○千葉大学環境健康フィールド科学センター教授 宮崎 良文

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1

Tel : 04-7137-8184 Fax : 020-4666-0398

E-mail : [ymiyazaki@faculty.chiba-u.jp](mailto:y Miyazaki@faculty.chiba-u.jp)

ロードを示した地形図 記載要領

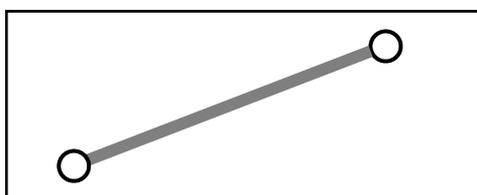
下記の記入方法に倣って「地形図」を作成するとともに、「調書」にも必要事項を記入して下さい。
ロードが複数ある場合は、そのロードごとに作成してください。

1. 地図への記入方法

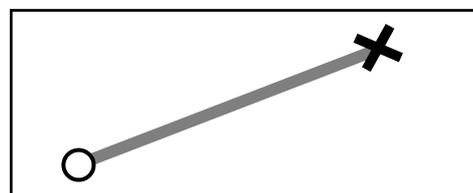
- ①ロードが複数ある場合は、枝番号を記載してください。(A-1、A-2等)
- ②○はアクセスポイント(車が入れる終点)、×は行き止まりとして記載します。
- ③○と○間、あるいは○と×間の総延長距離を記入してください。

【記載例】

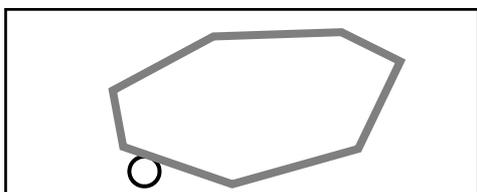
Aタイプ (始点、終点とも車道と連結型)



Bタイプ (行き止まり型)



Cタイプ (周遊型)

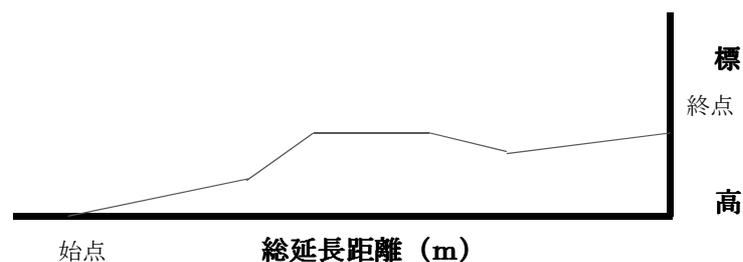


2. 調書への記入方法

- ①○と○間、あるいは○と×間の総延長距離を記入して下さい。
- ②ロード最深部の地点からアクセスポイントまでの距離・時間(徒歩)を記載してください。
- ③アクセスポイントから直近の医療機関までの距離及び時間(車)を記載してください。

3. 縦断面図について

地形図に、ロード全体の勾配が把握できる縦断面図を添付してください。



※変異点において距離、標高を記載。縮尺は自由。

1. フィールド生理実験等における各種条件

フィールド生理実験等の実施に際して、実験が良好に行うことのできる場所は下記の通りとなります。
 (なお、実験の流れについては実施前にご説明するとともに、手引きをお渡しいたします。また、必要に応じて下見調査の際に直接ご質問・ご相談をお受けいたしますので、申請段階では厳密である必要はありません。)

要素	条件等
森林部実験箇所 (セラピーロード)	[視点場] 午前中の座観実験で使用 代表的な眺望がある場所など。 (できるだけ待機場所の近く) [ロード] 午後の歩行実験で使用 上記座観場所を始点に、約 15～40 分の歩行区域。 出来るだけ傾斜が緩やかで、整備されている場所。
森林部待機場所	座観実験、歩行実験を行う間に被験者(6名)が待機する施設。
都市部実験箇所	[視点場] 国道沿いなど、対象とする都市部の代表的な場所。 [ロード] 上記座観場所を始点に、約 15～40 分の歩行実験を行う舗装道。 歩道があり、被験者が歩行上の安全が担保できる場所。 ※実験対照とする都市部は、その地方の代表的な主要都市(県庁所在地等)とします。
都市部待機場所	座観実験、歩行実験を行う間に被験者(6名)が待機する施設。

2. 被験者について

実験期間中(2日+予備日1日)全行程の参加が可能な女子学生(12名)を対象とします。
 都市部周辺に所在する大学の健康な20歳以上の女子学生が望まれます。

3. 現地調査、実験の下見スケジュール

基本的なスケジュールは、下記の通りとなります。

- [1日目] ○ 森林セラピーロード及び森林セラピー基地の現地調査
 - フィールド生理実験に使用する歩行ルート及び被験者待機場所の下見
- [2日目] ○ フィールド生理実験に使用する都市部及び被験者待機場所の下見

4. 本実験スケジュール

- [1日目] ○ オリエンテーション
 - 森林部・都市部の歩行・座観実験
- [2日目] ○ 1日目と実験箇所を交代して、森林部・都市部の歩行・座観実験
- [3日目] ○ 雨天の予備日

森林セラピー基地フィールド生理・心理実験費用 説明資料

名 称	近距離地域 費用内訳	遠距離地域 費用内訳
1. 下見調査委託費 旅費(交通費・宿泊代)	84,000	164,000
2. 本実験委託費 生理実験測定費用、心理実験測定費用、実験スタッフ人件費4名、旅費6名、調査結果分析 作業費	1,170,000	1,401,000
3. 被験者アルバイト人件費 日当(12名*2.6日)、写真モデル料、交通費(地元からの往復)、その他	405,968	405,968
4. 実験備品費用 指定飲料代・弁当代、雨具代、雑誌代、氷代、虫除け代、消耗品費等	284,000	284,000
5. その他費用 会議室使用料、保険料、通信費	187,000	213,064
6. 事務経費 管理費、事務経費等	183,847	309,746
合 計(税別)	2,314,815	2,777,778
消費税	185,185	222,222
総 計(税込)	¥2,500,000	¥3,000,000

■ 実験費用区分方法

区分	受託費	区分基準
近距離	250万円	つくばエクスプレス「つくば」駅から、最寄り駅までの片道15,000円圏内
遠隔地	300万円	つくばエクスプレス「つくば」駅から、最寄り駅までの片道15,000円圏外